

迎春

世界では戦争が、日本では物価高騰が続いています。平和と、生活向上を進める政治を、実現していきましょう。



2025年

民報編集部

ふるさと賛歌

鈴木重雄 八色木

年末の行事

師走に入るといろいろな行事があった。1日から5日までは、八色木永慶寺の座禅会があり、夜遅くまで本堂や開山堂に、こうこうと灯りがついている。最終日には飯台もついて賑わい、屋台店も出店していたという。しかし、戦争も厳しくなり、物資も不足したので、屋台店もなくなり、座禅会もなくなった。

来る。それに豆腐と芋ガラ、モダンを入れて、岩のりか刻みのりを載せる。納豆汁は翌日の温め汁が私は好きだ。13日は法龍権現様のお歳夜で祈禱を行う。この日村人たちはタヨ様（神職）に神饌米を供え1年のお礼をする。17日は皇太神社のお歳夜であるが、特別の行事はなく、神殿を開き参拝して終わる。

8日は薬師堂の縁日で、毎月祈禱会をしているが、12月は年の最後なので、普段都合がつかず欠席している人も努めて参加し、ナミアマダブツを唱える。翌9日は大黒様のお歳夜で、必ず供えるのは、根が2股になったマッカ大根、黒豆なます、ぶり子の人ったハタハタの田楽焼き、焼豆腐の田楽、はりはり大根、納豆汁と黒豆ご飯、それに米炒り（ポソ菓子）である。

この家でも気ぜわしくなるが、23日は冬至で南瓜を食べる。南瓜もこの頃から甘味が落ちて味の縮まりも無くなるようである。この日は餅米と小豆を煮合わせたイトコ煮が美味しかった。今年の冬至は21日（土）であった。31日は大晦日の大祓の神事が行われる。古いお札やお守りを神社に持ち込み、お祓いをして焼却する。人の形をしたお札に、家族の名前と年齢を書き、神社に供え1年の罪穢れを祓う。神棚に供える料理は新巻鮭か子持ちカレーの煮付け、昆布とズイキ芋、人参、コンニャク、大根、油揚げ、紅白の蒲鉾などを煮込んだ煮しめ、きんぴらゴボウ、納豆汁にご飯。年越しそばも準備するが、紅白歌合戦が終わってから。

京田川改修へ要望書提出

三和町内会役員らが鶴岡市長へ

藤島地域の三和町内会（富樫修会長）は役員4人が12月20日、鶴岡市を訪れ、皆川治市長に、「京田川改修に関する要望書」を提出しました（写真）。

想定を超える気象

要望書では、令和6年7月25日～26日の豪

雨は、過去にない大雨で未曾有の災害をもたらした。京田川が越水や溢水を起こし、襟排水と、七曲排水などが流れを遮られ、内水氾濫を起こし、被害が二重に大きくなった。

【要望事項】

1. 京田川に架かる京田橋を延長し、川幅を拡張し、上流からの水流を遮らずに流れるようにする事。

2. 河川敷に茂る支障木を伐採除根、堆積物を撤去し、水の流れを良くする事。

3. 京田川を最上川と分離し、河口を単独で日本海に流す事。

4. 広域的に東武山麓月山山麓や平野部を総点検し、保水林や遊水池、貯水の出来る場所を確保する事。

（2面につづく）

元且用に、からげ（干したエイ）か棒鱈の煮付、干し柿を入れた大根なますを作って、正月を迎える。

(1面からつづき)

市長は、「国と山形県、関係市町村が進める最上川下流・中流緊急治水対策プロジェクト、事業費総額650億円(国450億円、県200億円)が動き出した。

京田川についても対策検討を進め、整備計画を早急に策定するよう働きかける」と述べました。

市当局からは、「特定都市河川制度の指定を受けることで、予算措置が重点化される。

流域治水対策協議会発足が要件となる」との説明がありました。

特定都市河川制度の指定は、流域治水の実効性を高め、水害に強いまちづくりに向けて、河道掘削などのハード整備が加速されます。

(写真…2024年7月26日早朝に、庄内町干本杉からドローンで撮影／庄内町住民提供)



東田川史跡物語

大沼作兵衛の取組(庄内町大野)②

青山 崇

ある日の「午后自分ノ田ヲ指導・伝習ヲ受ケント先生ニ請ヒテ同道内(家)ニ帰り様々ノ道具ヲ見テ賞ヒ牝馬ノピンピンスル荒馬テ村東ノ田ヲ起ス事ニシタ處ガ九州ノ馬耕先生作

兵衛ノ田ヲ起シト云フノデ村中ハ申スニ及バズ西袋・田谷ノ人々夫レコソ老弱(若)男女黒山ノ様ニ集マツタ彌(いよいよ)馬ヲ田ニ入レ犁ヲ付ケ先生ハ



(島野嘉作帰国記念:明治36(1903)年5月撮影)

犁ヲ把り自分ハ馬ヲ率

キ出シタガ馬ハ何ヲスルカト思ヒシモノカ或ハ犁其物ニ驚キシモノ

カ闇ニ駆ケ出シタガサスガ先生次第ニ馬方疲れトニ連レ段々鋤キ起シ事カ出来白(薄)暮

引揚ケタ其ノ時ノ大衆ノ批評ハ大多駄目(大駄目)ナモノデアルト殊

(二)骨(滑)稽トモ云ヒマシヨウカ丸山藤左エ門ノ親族長沼ノ人ニ

テ極ク馬好キノ人ニテ大久保ト云ウ人ガ自分ニ忠告ト云ホウカ大部

大金ヲ出シテ買ツタ馬ヲ譬(たと)へ金ガアルトシテモ大切ノ高価ナ

馬ヲ斃シテ仕舞ウモノデアルカラ止メルモノデアルト云ウテクレマシタ。

しかし、一層奮励努力シテ技術ノ進歩ヲ期そう、馬耕が充分でき

るようになったと世間

も認めるようになるうと心に決めた。他村でも相当の技術を得た人も出てきた。その時、

先生は碑文にあるように馬耕競犁会を提唱し

明治28年4月第1回東田川郡馬耕競犁会を開催した。奇しくも作

兵衛は一等賞(二人)に輝いた。その後村でも開いた。遺稿は広告裏

・半紙・野紙に毛筆・ペン・鉛筆で書いてある。なお育種家でもあり大野1〜4号を作っている。村の八幡神社

るようになったと世間



には馬耕記念碑(下写真)と作兵衛顕彰碑がある。

『余目町史』転用)

上写真は、前列左・

斎藤幾太郎(郡書記…郡長代理か)、牧源助(廣瀬)、島野嘉作、佐藤長七(廣瀬)。後列左・大沼作兵衛(大野)、宇田喜代吉(東栄)、国井米蔵(反古)、佐藤直吉(余)の各氏である。



103万円の壁

103万円の壁。3

党間で揉めていたようだが、とりあえず基礎

控除と給与所得控除を合わせて123万円で年末調整をする事になる模様。何が基準か不明だが、103万円に

10万円ずつプラスするとの事だ。では、改めて103万円について見てみたい。

▲103万円は、基礎控除が48万円で給与所得控除が55万円の103万円なのだが、日本

では、この金額を超える収入があると所得税が掛かる事に。

▲この金額を超えて働くと本人に所得税が発生すると同時に、扶養

家族になれないから、妻なら38万円、大学生

はというと63万円が控除できなくなる。その

5%が国税で10%が地方税として税額がアップするんだ。

▲物価高。なんとか良い暮らしの為にと妻が働く。親に無理をさせたくないと大学生がバイトに精を出しても、

一線を超えれば大変な事になるのが実態だ。それでいて労働力不足と言っているんだ。日本・可笑しいでしょ。

▲先日、大学生が何故そんなに働くんだ・と言った人がいた。この人、バイトが必要なかった人なんですよか。

今なら多くが卒業時、学位証に奨学金の借金証書がついているって

ことを知らないんだワ。▲国が教育に金を出し

渋るものだから、各大学の学費の引き上げが

問題になっている。日本の未来を背負っている彼等なんだから、軍

事費よりもっと教育にお金を使うことです。

第一、生活費非課税の原則ってものがあるんだ。学生の場合、それはナンボなんだヤ。

(石川)